

12月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開していますので、ご覧ください。

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

防災について

(質問) 鈴鹿川の氾濫被害想定と危険性の認識。

(答弁) 国土交通省の想定では、6時間の総雨量268ミリの大雨によって鈴鹿川は氾濫し、浸水被害となる面積は約31平方キロメートル、対象世帯約27,000世帯、対象人口約67,000人、被害金額は約6,400億円となっている。

平成24年の台風17号の際は、高岡水位観測所

における水位が氾濫危険水位を超過するなど、当時の災害対策本部は大変危険な状態を経験した。このため、翌年に流下能力不足箇所において堆積土砂の撤去や河川内の樹木伐採を実施した結果、平成25年の台風11号の出水の際、60センチの水位低下等の事業効果があった。しかし、昨今の集中豪雨や大型台風などを想定すると、依然として危険な状況に変わりなく、河川改修の促進と維持管理の拡充が急務であると認識をしている。

その他の質問 ○市有地について

日本共産党 石田 秀三 議員

市の「人権」施策について

(質問) 市は「人権問題に関する市民意識調査」を行おうとしている。前回2008年に行った調査は、設問の半分が「同和問題」という異常なもので、どんな数値がでてでも「差別は無くならない」という偏った特異な結論を市民に押し付けるものであった。今回も前回と同様の調査をすることは、無駄であり有害である。すでに特別措置法が失効

し、市の同和事業も全て終了している今、庁舎前の「部落差別をなくそう」の大看板は撤去すべきであると考えがどうか。

(答弁) 意識調査は今回で4回目であり、市民意識の変化を把握し、人権施策や啓発の取り組みを検証して、今後の人権行政のための基礎資料を得ることが目的である。看板については、完全に差別が解消していない実情があることから、設置している。

その他の質問 ○Cバス運賃値上げ案の撤回を

日本共産党 森川ヤスエ 議員

中学生の自衛隊職場体験について

(質問) 子どもたちの職場体験に自衛隊の体験を取り入れている理由と、自衛隊と他の事業所との違いについて教育委員会の認識を問う。また、消防の目的は、人命救助が基本であると考えますが、自衛隊の任務は第一に闘うことである。災害救助を任務の一部にしているものの、自衛隊の基本は戦闘に関わる仕事である。自衛隊での職場体

験は、義務教育課程の中学生の職場体験としてふさわしくないのではないかと。

(答弁) 職場体験は適切な勤労観・職業観育成の一助とする趣旨がある。自衛隊については多様な職種・職業に関する事業所の一つとして捉えており、防災教育に関連付けて実施している。自衛隊が従来から果たしてきた国際貢献活動、災害救助支援活動について学ぶことは一定の教育的効果があると捉えている。

その他の質問 ○横断歩道や停止線等標識について

日本共産党 橋詰 圭一 議員

高齢者の「生活交通」について③

(質問) これまで、「本市での公共交通空白地域を、駅やバス停から1km以遠の地域」とし、「1km以内の対策は考えていない」とのことであった。しかし、高齢化社会を迎える中で、高齢者の生活の足をどうするのかといった点が「公共交通」の課題となっており、いつまでも「1km

以遠」にこだわって、それ以上のことを考えようとならないのは行政の怠慢ではないか。公共交通部局として、市内の高齢者の声や要求をどのように捉えているのか。11人乗り以下の「乗合デマンドタクシー」の実現を求める。

(答弁) これからの高齢化社会を見据えた高齢者の移動手段については、「1km以遠」にとらわれることなく検討していく必要があると考えており、関係部局と連携を図り検討していく。

その他の質問 ○国民健康保険について